

正規教員就職者数  
7年連続全国1位  
教員就職者数  
5年連続全国1位  
(平成27年3月卒業生)

# 業務実績の概要

(平成28事業年度)

子どもたちの未来を拓く人を育てる「教育の総合大学」として  
教員養成における「実践力」「高度化」「再教育」の拠点になる

－学び続けるプレ教師の育成と学び続けるプロ教師の支援－



広域拠点型教育大学のランドマークである「教育未来館」



国立大学法人愛知教育大学

# 教育研究等の質の向上の状況

## I 教育

### (1) 教育内容及び教育の成果等

- ① 「初年次学校体験活動」の実施要項を整備。  
**【取組5】**
- ② 「学校サポート活動Ⅰ」を平成28年度から試行的に実施。**【New】**
- ③ アクティブ・ラーニングの要素を提示して、平成28年度授業における導入状況を調査し、全開講授業のうちの27%で行っていることを確認。
- ④ 平成28年度から初めて開催したホームカミングデーにて、修了生支援の一環として、「学びの交流会」を実施。**【New】**



「学びの交流会」の様子

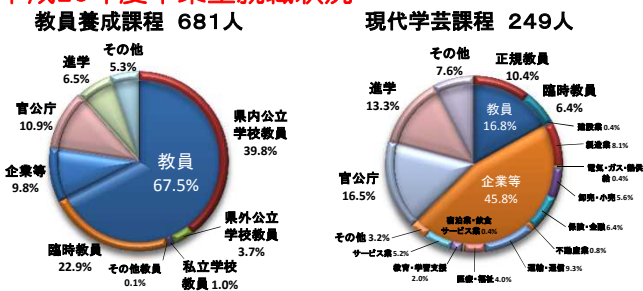
### (2) 教育の実施体制等

- ① 学事暦を見直し、「実践力育成科目」を実施できる時間を確保。

### (3) 学生への支援

- ① 学生の相談業務の窓口を拡充するため、「なんでも相談室」を平成28年4月に開設。**【New】**
- ② 大学生生活不適応学生の発見ポイントに関する教員向け資料を作成して配付。
- ③ 本学の教育、研究等に貢献していると認められる学生団体を「AUEパートナーシップ団体」として認定する支援制度の創設に向けて規程を整備。

### 平成28年度卒業生就職状況



### (4) 入学者選抜

- ① 平成28年度に設置が認められた教育支援専門職養成課程の入学試験を実施し、各コース共に定員を充足。**【戦略C】**
- ② 平成28年度までの推薦入試募集の枠は93名(入学定員の10.6%)であったが、平成29年度は158名(入学定員の18.3%)に拡大。**【戦略B】**
- ③ 平成29年度の改組に伴う新たな学生募集に向けて、動画による広報活動を開始。**【戦略C】**

## II 研究

### (1) 研究水準及び研究の成果等

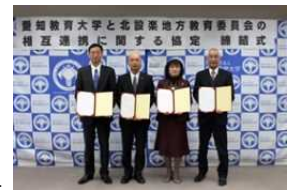
- ① 質の高い研究活動を活性化するために、学内研究費の重点配分基準を見直した。
- ② 『「学び続ける教員像」の確立に向けた研修体制・研修プログラムの開発』プロジェクトに取り組み、また、『「主体的・協働的な学び」を実践できる教員の養成』プロジェクトに着手。**【New】【取組1,10】**
- ③ 「いじめ・不登校プロジェクト」に取り組み、本学附属学校において、こころのアンケート調査を実施。

### (2) 研究実施体制等

- ① 共同利用体制の整備に必要な事項を整理。

## III 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究

- ① 新たに県内知多地区5市・5町及び北設楽地域2町1村の合計13教育委員会と相互連携に関する協定を締結。**【New】**



北設楽地域2町1村との協定締結式

- ② クロスアポイントメント制度を全国の教員養成系大学で初めて導入し、NTTラーニングシステムズ株式会社と協定を締結。**【New】**



NTTラーニングシステムズ株式会社との協定締結式

- ③ 株式会社中日新聞社とNIE(教育に新聞を)の推進等、また、中部電力株式会社と環境エネルギー教育等において連携協定を締結。**【New】**

## IV その他

### (1) グローバル化

- ① 名古屋大学、三重大学との連携事業の一環として、平成27年度に引き続き、カンボジアでの教育支援調査を実施。



調査実施のためカンボジアを訪問

### (2) 附属学校

- ① 教育課程研究指定校事業及び「心のバリアフリーの推進事業」の計3件が採択された。
- ② 各地区の附属学校の機能をさらに充実させるため、改革プランの実施計画を策定。

# 業務運営・財務内容等の状況

## I 業務運営の改善及び効率化

### (1) 組織運営の改善

- ① 平成28年度から新たに平成31年度までの想定年度計画、到達指標を設定。また、計画の実施過程をより明確にするため、行程表を作成。【New】
- ② 女性管理職率を向上させるため、女性管理職と女性係長との意見交換会を行い、女性のキャリアアップを支援し、管理職を目標にする意識を醸成。【New】
- ③ 男女共同参画の取り組みとして、「学内託児ルーム」の実施要項を作成した上で新たに開設し、育児への支援体制を整備。

### (2) 事務等の効率化・合理化

- ① 研修体制を見直し、事務系職員育成研修や語学学習研修などの新たな研修を実施するとともに、他機関において広い知識、経験を得ることを目的として、当初計画を上回り、5人が交流。【New】

### (3) 教育研究組織の見直し

- ① 平成29年度の改組に向け、生活科選修、日本語教育選修、教育支援専門職養成課程のカリキュラムを編成し、学則等を改正するとともに、その運営母体となる教員組織を決定。【戦略A, B】
- ② 教育委員会と連携して、現職教員を対象に管理職研修を実施し、そこでの実績を踏まえて、マネジメント研修として新たなプログラムを開発、実施。【New】【戦略C】【取組10】

## II 財務内容の改善

### (1) 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加

- ① 新たに「AUE修学支援基金」、「70周年事業基金」を設立し、従来の「教育研究基金」と合わせて3種類からなる「未来基金」に改編。「AUE修学支援基金」には、154件、2,435千円の寄附があった。【New】

### (2) 経費の抑制

- ① 第3期中期目標期間中の運営費交付金及び授業料等収入の減少推移を試算し、人件費予算枠等を分析・検証して、教職員採用を抑制したことで、人件費は、前年度に対して▲167百万円となった。【戦略B】
- ② ごみの減量と回収の効率化に努め、物品リユースを継続した結果として、目標である一般管理費比率4.54％に経費を抑制。【戦略B】

	H24	H25	H26	H27	H28
物品リユース件数 (購入推定金額 [単位:千円])	27件 (1,314)	54件 (2,866)	78件 (9,940)	106件 (9,068)	165件 (1,657)
一般管理費比率	4.24%	5.22%	5.16%	4.66%	4.54%

### (3) 資産の運用管理の改善

- ① 教育研究に供する共同利用スペースとして、大学の施設面積比12％を確保。

## III 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供

### (1) 評価の充実

- ① 新課程・新選修の入試情報を中日新聞、静岡新聞の両紙に掲載するとともに、ポスターの駅貼りやYouTubeにより発信。【New】

### (2) 情報公開や情報発信等の推進

- ② 卒業生、修了生を対象にして、初めてホームカミングデーを開催し、約300人が参加。【New】

## IV その他業務運営

### (1) 施設設備の整備・活用等

- ① ボイラを廃止し、管理的運営経費を削減。
- ② 維持管理計画書を策定。
- ③ 温室効果ガスの排出量を前年度比で7％削減。

	温室効果ガスCO2排出量(Kg)	
	平成28年度	平成27年度比
電気	2,685,145	▲1.24%
ガス	331,382	▲10.45%
重油	0	▲100%
合計	3,016,527	▲7.54%

### (2) 安全管理

- ① 東海地区の大学が大規模災害対応に関する協定を締結する方向で調整することを決定。
- ② 新たに危機管理室を設置。【New】
- ③ 「情報セキュリティ対策3か年基本計画」と「個別取組」の工程表を策定。
- ④ 情報セキュリティインシデント対応体制を整備して手順書を作成。また、整備緊急時に停止できない情報機器等を把握し、情報システムを停止するための手順書を作成。【New】
- ⑤ 全学構成員を対象とした「個人情報保護・情報セキュリティセミナー」等を開催。また、非常勤職員、客員教員や学生等を対象とした「情報セキュリティ対策ガイドラインリーフレット」を作成。



「個人情報保護・情報セキュリティセミナー」の様子



# 戦略性が高く、意欲的な目標・計画の状況



## 大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築 －教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクト－の取組

- (1) 4大学(北海道教育大学(H), 愛知教育大学(A), 東京学芸大学(T), 大阪教育大学(O))が連携して集中講義を開講し, 受講した学生は, 平成27年度に整備した単位互換制度を活用
- (2) 4大学が連携して研究会等を開催し, 成果を公表
- (3) 各部門の取組

### ■IR部門

新入生を対象としたアンケートの分析結果を踏まえて, 個別学力検査の選抜方法改革に取り組んだ。



「IRデータに基づいた教育支援の課題提起」をテーマにした報告会の様子

### ■研修・交流支援部門

FD・SDに関するアンケート調査をふまえ, 教員養成系大学に勤務する教職員に固有かつ必須に求められる8つの力を抽出し, 32の力量に構造化した。それらの力量を伸ばす8つの講座の開発を進め, 一部を公開。

### ■先導的実践プログラム部門

- (1) 理科離れ克服の科学・ものづくり教育の推進プロジェクト  
・コンソーシアムの設置を検討。
- (2) 特別支援教育の多面的・総合的支援プロジェクト  
・シンポジウム「東海地区の大学における特別支援教育の取り組み」を開催。
- (3) 外国人児童生徒学習支援プロジェクト  
・講演会「世代をまたぐ支援の可能性と方向」を開催。  
・「ボランティア奮闘記Vol.3」を発行。



「世代をまたぐ支援の可能性と方向」をテーマにした講演会の様子

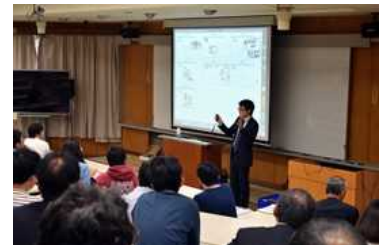
## 第3期中期目標期間における重点的取組

### 【ビジョン】

愛知教育大学は広域拠点型教育大学として, わが国の学校教員の質の向上を目指し, 「高度化」を主軸として, 「実践力の育成」, 「現職教員の再教育」を行う。また, 学校が直面する現代的課題への対応力を有し, これからの社会を担う子どもたちの未来を拓くことができる教員の養成と学校教育を支援する人材の養成を行う。

### 戦略① 実践力を身につけ, 現代的課題に対応した高度な教員の養成

- 【取組1】「主体的・協働的な学び」を実践できる教員の養成
- 【取組2】学部と大学院をシームレスに接続した高度教員養成プログラムの開発, 実施, 充実
- 【取組3】次世代型教育を担う高度な人材の養成を指向した入試改革
- 【取組4】学部:特別支援教育科目の開講, 大学院:特別支援教育科目の共通科目化
- 【取組5】ボランティア活動の単位認定, 実践力育成科目の新設



【取組1】「アクティブ・ラーニングを促す理科授業のポイント」をテーマにした講演会の様子

### 戦略② 地域固有の教育課題への支援

- 【取組6】グローバル人材育成を主軸とした教員養成等プログラムの開発
- 【取組7】海外の人材育成支援の実施, 充実
- 【取組8】日本語指導プログラムの策定, 実施, 充実
- 【取組9】地域における科学・ものづくり教育の実施, 充実

### 戦略③ 「学び続ける教員像」を実現するための現職教員の再教育

- 【取組10】「学び続ける教員像」の確立に向けた研修体制・研修プログラムの開発
- 【取組11】「チーム学校」に必要な学校教職員の質向上を行うための組織強化
- 【取組12】再教育研修の実施, 充実



【取組10】「学び続ける教員像」の確立に向けた研修の一環として開催された中堅教諭等資質向上研修の様子

### ※【 】内の表示の説明

#### 【New】: 新たな実績

平成28年度に初めて実施した取組など, 主な事項に記載。

#### 【取組1から12】: 第3期中期目標期間における重点的取組

大学の強み・特色を踏まえた機能強化の一環として, 本学は, 「地域のニーズに応える人材育成・研究を推進」するため, ビジョンを踏まえた3つの戦略の下に12の取組を設定。

### 【戦略AからC】: 戦略的・意欲的な目標・計画

下記のAからCの基準のうち, いずれかを満たしている中期計画を文部科学省に申請し, 認定されたもの。

- (A) 法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの。
- (B) 取組の重要性を踏まえ, かなり高い数値目標を掲げて取り組むもの。
- (C) 法人の機能強化に向けての法人の強み・特色を一層明確化するため, 重点的な資源の再配分を行い, 具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの。